

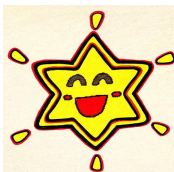


新野小だより 7月-2

—第8号—

R8.7.10発行

あすチャレ!スクール(4・5・6年生)



新野東小学校との授業交流の日に、日本財団パラスポーツサポートセンターより講師をお招きして、「あすチャレ!スクール」を開催しました。講師は、パラリンピックに7回も出場経験のある陸上競技の永尾嘉章(ながおよしふみ)さんでした。永尾さんからは、パラスポーツの紹介をしていただいたり、デモンストレーションで時速46kmの動きを見せてくれたりしました。その後、児童代表や先生がレーサー体験をしたことで、その速さに驚きました。児童全員で車いすリレーもしました。車いすバスケットボール用車いすで、自由に動けて転ばない工夫もあり、子どもたちは上手に操作できて貴重な体験をさせていただきました。最後に永尾さんの講話で、自分自身の「目標を持ってあきらめない」ことの大切さをお話してくださいました。児童代表お礼の言葉では、自分の目標を発表してくれました。「他者のことを自分事として、また、障がいとはなにか」を考える有意義な機会となりました。



あさがおの花がさいたよ(1年生)



4月25日(金)の参観日にお家の人といっしょに種まきをしたあさがおがぐんぐんのびて、たくさん花を咲かせました。子どもたちが毎朝、声かけをしながら水やりや観察をしていました。優しい心が育っています。昨日は、生活科の時間に咲いた花びらやほんばを使って、たたきぞめをしました。



新野東小学校との交流授業

交流も3回目になると、落ち着いた雰囲気、学び合う姿が見られるようになっていきます。楽焼きもいっしょに成形しました。



租税教室(6年生)

県税局阿南支所より講師をお招きして、「税金はなぜ必要なのだろう。」をテーマに考えました。私たちが安心して暮らせるのも税金のおかげであると気づき、税金の大切さを学びました。また、義務教育で10人あたり1億円以上もの費用がかかっていることに驚きました。



新野識字学級生との交流会(6年生)

市民センターを訪問し、識字学級生と交流学習をしました。昨年度11月の交流から2回目です。講師の浅川先生が新野識字学級が始まって3年目(平成4年10月)の頃の作文を資料にお話ししてくださいました。その作文をみんなで声を合わせて朗読しました。「わたしのおいたち」という題名の作文には、言われなき差別のため、学校に行けなかったことや奉公に出て涙したことが書かれていました。今の子どもには想像が難しいと思いますが、作文の終わりの、「今の私は、識字学級に行く夜を楽しみにしております。」という一文が深く印象に残りました。子どもたちの感想には、「いじめや差別は絶対にいけない。」「学校で学べるのが、どれだけ幸せなことかわかりました。」とあり、講話の中の大切なところに気づき感じ取っていました。また、江戸時代のふすまの裏側に書かれている文字や古銭も見せてくれました。今回は、識字学級で熱心に学んでいる方々と交流できて、同和問題学習に取り組むきっかけとなりました。

